



1. 1-4b工区 中世寺院跡全景



2. 1-4b工区 中世墳墓堂



3. 1-4b工区 中世墳墓堂（常滑大甕）



4. 1-4b工区 中世石組墓

## ●主な調査成果

1-4b 工区では、中世前期（鎌倉時代）の寺院跡を調査しました。隣接調査区で発見されていた中世寺院跡と一体のもので、今回は墳墓堂と推定される礎石建物跡1棟、掘立柱建物跡1棟、石組墓3基、井戸跡1基、溝状遺構1条などが検出されています。

墳墓堂と推定される礎石建物跡は、地山を削り残した基壇上に3間×3間の礎石が配置されています。基壇周囲には縁石が並べられていました。基壇中央には火葬骨を納めた常滑大甕が2個体埋められています。

石組墓は、大きな石を長方形に2段に配置して、内側に丸くて扁平な径10cm程度の玉石を積み上げています。玉石の下には土坑があり、炭化物に混じって火葬骨が見つっています。

- 調査期間 2012年9月16日～調査中
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市子易
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3.5kmの丹沢山地南東山麓の丘陵上

